

家庭教育学級

だより 29年度第1号

皆様こんにちは！今年度から、教育委員会で家庭教育学級を担当しております 清水 優樹と梶田 邦昭です。どうぞよろしくお願いいたします。まずは自己紹介です。

清水 優樹…前年度まで、学校図書館の地域開放の業務を主に担当。今年度から、家庭教育学級事業の企画・統括を担当しています。皆さんと一緒に子育ての勉強をしていきたいと考えております。皆さんの学習会を参観させていただくたびに新たな発見があり、毎回勉強させていただいております。



梶田 邦昭…前年度まで中学校に勤務。（教頭時代に家庭教育学級に参加させていただいていました。）4月より地域活動推進員として生涯学習推進課で勤務しております。音楽教師です。学習報告書や名簿等、ご提出いただく書類の確認を主に行っています。



家庭教育学級全市合同学習会を開催しました！

7月18日に元高校教師でエッセイストの宮本延春氏を講師にお招きし、全市合同学習会を開催。子どもの自己肯定感の育み方などについて、学びを深めました。



演題：「オール1先生からのメッセージ」

～子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高めるために～

- 子どもの話を聞くときは、肯定から始めること、自分の価値観を押しつけないこと、気持ちに寄り添うことが重要。子どもの気持ちを想像し、子どもの目線で話を聞いてあげてほしい。
- 子どもの自己肯定感を育むためには、子どもの評価欲求を満たしてあげることが重要。そのために、できたところにたくさんマルを出してほしい。また、子どもの存在そのものを無条件に受け入れて接することが大切。

<参加者の声>

- あっという間の1時間半でした。とても心に響く講演でした。子どもの心に寄りそえる母になろうと思いました。
- 子どもを無条件で評価することの大切さを改めて知る機会になりました。見えているところだけにこだわったり、とらわれたりせず、存在を認めていける子育てがしたいと思いました。
- テストの点数ばかり目を向けるのではなく、子どもの本質を大事にし、叩き上げるのではなく、大事に磨き育てていけるよう努めたいと思いました。
- ほめるより先に否定することばかり言ってしまうので、まず肯定してあげるクセをつけたいと思いました。
- あらためて子どもの存在というものが、とても大切で、認めてあげることやほめること、感謝を口にするものの大切さを学びました。家でも実践していきたいです。

学習会へ訪問させていただきました！

- まずは、今年度、新たに家庭教育学級が開設された清田区美しが丘幼稚園です。

学習テーマ 読書の大切さについて学ぶ
講師 進学研究室代表 須藤 真臣さん



読書に興味を持たせるために・・・

- ・子どもに合った本を薦めることが重要。読んだ後に感想を聞くとよい。
 - ・音読を一緒にする。読んでいる場所を一緒に目で追うことも効果的。自分の好きなシーンや印象に残ったこと、登場人物の心を想像できるようになると学びに結びつくようになる。
 - ・親が本を読んでいる姿を子どもに見せることも大切。
- ～グループでも多くの意見が出ており、
学級生の熱心さを感じました～

- 続いて、西区琴似中央小学校です。

学習テーマ イライラで後悔しない！～アンガーマネージメントでハッピー子育て～
講師 一般社団法人日本アンガーマネージメント理事 長縄 史子さん

- ・アンガーマネージメントは、後悔しない怒り方・伝え方ができるようになるスキル。
 - ・怒りは二次感情。怒りの裏には本当の気持ちが隠されている。その性質を知ることにより怒りと付き合いやすくなる。
 - ・イライラした時は6秒待つ。「せめて〇〇してくれたら嬉しい」という言い方をしてみる。
- ～マネジメント診断で自分の怒りの取り扱い方がわかり、
大いに盛り上がりました～



- 最後は、清田区平岡中央小学校です。

学習テーマ 『生と性の現場から 性教育を考える』
講師 伏古レディースクリニック 助産師 稲葉 千晶さん



札幌市の青少年の性事情、中絶の現状、学校での性教育の現状、年代別性教育のすすめ方など映像を交えながらわかりやすく説明していただきました。

- ・札幌市の人口妊娠中絶率は全国の1.8倍。
- ・子どもの疑問を避けずに受け止め、きれいな言葉で教えることが大切。小学校4年生くらいから思春期に起こる体の変化を教えてあげるとよい。

どの学習会も学級生の皆さんの熱心に学習を進める様子が伺えました。我々の視察を快く迎え入れていただき、ありがとうございます。清水・梶田共に、今後、さらに学級生の皆さんを応援していきたいと決意を新たにしました。

学習報告書の書き方アドバイス

5月から11月までの7か月間。滞りなく学習報告書をいただきありがとうございます。中には心温まるお言葉まで添えていただくこともあり、重ねてお礼申し上げます。

全て読ませていただいておりますが、学習された内容の詳細がとてもよく伝わってきます。ただ、「**反省・感想**」の欄ですが、**“学んだ事をどのように子育てに生かしていけるかという視点で記載”**していただきたく、その点にご配慮いただけますと大変助かります。

ご提出いただいた数々の素晴らしい報告書の中から、いくつかご紹介します。（文字数の関係で、多少文章は編集しています）下半期以降の参考にしていただければと思います。

A校の記載より … 1-1 コミュニケーションの重要性について学ぶ

「子どもとのコミュニケーションをとろうと話しかけたはずが、小言になっていたり、自分優先のコミュニケーションばかりで反省しました。」という意見の他に車中での会話を大切にしたり、何気ない会話を一緒に楽しんだり、また洗濯物を畳むという日常のちょっとした時間を一緒に過ごしたり、遊ぶ時もまじめな時もとことん子どもに付き合うなどそれぞれの家庭での工夫がとても参考になりました。**子どもが本当の気持ちを言えるような環境を作ってあげる必要があるのだと改めて気づかされました。**～中略～さっそく実践し子どもさんに「今日の楽しかったことは？」と膝に乗せながらたくさんおしゃべりをした方もいらっしゃいました。**どんな小さなことでも、短い時間であっても濃く充実した一緒に時間は最高のコミュニケーションだと思いました。**

B校の記載より … 1-5 子どもの進路、将来について学ぶ

教育資金講座（確実に貯める！教育資金～子育て世代のマネー講座）



子どもの教育資金にどのくらい必要か、具体的な金額を確認し、現状を知ることによって、子どものために計画的に貯蓄することの重要性を認識できた。また、この先子どもの将来のために資金をためていく為には、夫婦だけでなく、**子どもとも進路についてよく話し合い、具体的で達成可能な計画を立てることが大切だと感じた。**

C校の記載より … 4-3 命の大切さについて学ぶ

生命の授業 子どもたちと命の大切さについて、交流し学びを深める

子ども達に直接お話する機会があったおかげで、改めて親としてどれだけ子どもへの愛情を持っているか、家族がいかに大切かを振り返ることができました。子どもが成長するにつれ、すれちがったり、衝突することも出てきてしましますが、授かった命にどのような想いをこめたか忘れず、**変わらない愛情と責任をもって子どもたちに寄り添っていこうと思います。**

学習報告書作成時の注意点

学習報告書の提出のほか、学級生名簿や学習計画の変更、修正などのご連絡も適宜いただいております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

また、教育委員会から学習報告書の若干の修正等をお願いする場合は、基本的に電話、Eメール及びFAXでお伝えしております。連絡があった際は、ご対応いただきますようよろしくお願いいたします。学習報告書の作成・提出には大変なご苦労があると思いますが、下記に注意点を記載いたしましたので、ご確認のうえご提出いただきますようお願いいたします。

平成 29 年度用					
学 習 報 告 書					
(家庭教育学級用)					
中央	区	0000	<input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校	会場	自校会議室
実施日時		平成29年00月00日(火)		午前 10:00~ 12:00 (2時間以上) 午後	
学習項目 選択番号		(2-5)			
学習形態 (いづれかに 付けてください)		<input checked="" type="checkbox"/> 講演会		<input type="checkbox"/> 座談会	
参加人数		合計 15 名			
印刷の対応		<input type="checkbox"/> 学習会の記録を後日配布		<input checked="" type="checkbox"/> 学習会レジュメを後日配布	
講師氏名		00 00	職業・肩書	代表	
講師謝礼		5,000円(交通費を含む)、その他(お茶代)108円			
必修学習項目と学習した内容の詳細					
(1) 必修学習項目(一覧表より)または講演会・座談会のテーマ 「おこづかいの与え方について学ぶ」					
(2) 学習した内容の詳細(学んだことの中で『子ども・家庭に関わる内容』の部分に記載) お金にまつわるトラブルなどの話を聞いたので、気を付けようと思う。 子どものお小遣いの与え方について、金銭感覚(やりくり・お金の大切さ・金融商品について教えるなど)を子どもに楽しく実践させる方法を、実例を交えて学習しました。					
反省・感想(学んだ事をどのように子育てに生かしていけるかという観点で記載してください)					
小さいころから金銭感覚を身につけないと、大人になってからトラブルに巻き込まれるという事例をお話いただき、小学生のうちから出来る範囲でおこづかいの使い道を親子で話し合い、子どもの自立心をはぐくみ、困った時に工夫したり、知恵をしぼるなどの大切さを学びました。家庭でもおこづかいの与え方や使い道について家族で見直していこうと思いました。					
【注意事項】					
※ 未記入の学習報告書を原本として保管し、記入の際は原本をコピーして使用してください。					
※ 学習会終了後、教育委員会生涯学習推進課社会教育担当まで1週間以内を目途として速やかに提出してください。					
※ 提出したものは別に1部コピーし学級で保管してください。					
※ 学習会のレジュメ・資料等がありましたらこの学習報告書と一緒に提出してください。					
※ 学習報告書をはじめ各様式は市教委のホームページからダウンロードすることができます。					

フルネームをお願いします。

このように、出来るだけ具体的に記入してください。

良い例です。
「学んだ事どのように子育てに生かしていけるか」という観点で記入してください。

始まった時間で午前・午後を記入してください。

この欄の記入を忘れないでください。

お茶、お水、花束代はOK。お菓子等の飲食費の支出はできませんので、注意して下さい。

修正液・修正テープは使用しないでください。(間違った場合、修正しコピーして提出してください)

また、記入にはボールペン等を使用してください。(鉛筆書き×)